

心音

coco

ne

A to Z

GAME
STADIUM 20

ここの
こどもの居場所「心音」は

京都府母子寡婦福祉連合会が、

京都府ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業として、

京都府から委託を受けて行っている事業です。

ひとり親家庭の子どもと保護者が気軽に集える居場所で、

子どもの生活習慣の確立や食育・学習習慣の定着を目的とします。

心音の歩み

2013

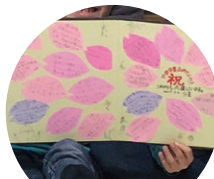
夏休みこども学習支援として、夏休みの宿題や工作教室などから始め、市の社会教育課と、天文館に講師を依頼しました。参加者は1名でした。

2014

夏・冬・春休みの長期休暇に子どもの規則正しい生活習慣の定着と学習支援、体験教室を15日間行いました。土日に計画しましたが台風で3回中止となり、日程調整に苦心しました。参加者は4名でした。

2015

2014年と同じような内容でしたが、自然科学の先生が講師に来ていただけることになり、里山交流研修センターを中心に夏休みはゴーヤの観察日記を作ったり、ペットボトル噴水やスライム作りなど、自然科学教室や工作教室を行いました。夏・冬・春の長期休暇に年間15日間行い参加者は4名でした。



2016

休日等通年型50日間に取り組むことになり、青野町の「トマトのおうち」を借りて毎週水曜日の夕方5時から夜8時までとしました。開設当初、子ども1名、講師1名、支援員3名で、食事の準備をしながら子どもの様子がうかがえるワンルームでした。開設準備金で会場整備や備品などを揃え、会員の寡婦が中心となり運営しましたが、食物科に通う高校生の会員の息子さんが調理ボランティアで来てくれました。参加者が5名となり「トマトのおうち」が手狭になり会場を探すことになりました。

2017

会場を栗文化センターに移し、2階は学習と卓球などのできるスペース、1階は調理室と和室を借りることになりました。小学生を中心としてその兄弟姉妹の園児・中学生で10名の参加者となり、あやべ市民新聞の記事を見てお手伝いしていただけるボランティアさんも増えました。途中で学習支援の講師が交替になり、新たに2名の講師にお世話になることになりました。放課後等デイサービスの事業所とも連絡をとり子どもの支援について教えていただきました。

2018

子どもの年齢の幅が広くと対応が難しくなり参加者を小学生に限ったりする中で、試行錯誤しながら子どももボランティアも落ち着きを取り戻しました。参加者は6名です。

2019

参加者が8名となり、男性のボランティア2名も加わっていただくことになりました。食事のテーブルの準備や配膳の手伝い、食後の後片付けやお皿ふきも皆で一緒にします。後片付けが終わればトランプやゲームなど交流の場になりました。9月から午後8時から9時まで隔週でウクレレ教室がスタートしました。

contents

A	akebi あけび	N	naku 泣く
B	birthday バースデー	O	okonomiyaki お好み焼き
C	christmas cake クリスマスケーキ	P	pinpon ピンポン
D	denki 電気	Q	quiz クイズ大会
E	egao 笑顔	R	roka 廊下
F	fruits フルーツ	S	syokuji 食事
G	gakusyu 学習	T	taiken 体験
H	hassan 発散	U	ukurere ウクレレ
I	ipad アイパッド	V	vikkuri ビックリ
J	jyunbi 準備	W	waraigoe 笑い声
K	kare カレー	X	christmas party クリスマス会
L	large ラージ	Y	yasai 野菜
M	menrui 麺類	Z	zenin 全員



スタッフが庭になっていたあけびを持ってきたくれました。昔は子ども達の秋の大切なおやつの「あけび」をこどもたちは初めてまじかで見て興味津々。「えっ？食べれるの？」スプーンで少しずつすくって食べました。「ほとんど種やなあ」

あけび
akebi

1年に1回誰にも訪れる大切な日。ケーキをデコレーションしてお祝いします。かわいい赤ちゃんだったころのお母さんの愛情一杯のアルバムを見あって「かわいい!」「大きくなった!」と賑やかです。

バースデー
birthday

皆んなでワイワイ、ガヤガヤ、楽しくデコレーションをします。くだものを間にはさんでクリーム絞り出してイチゴ飾って。クリームをちょっとなめてお味見。う〜ん最高!子どものセンスはステキです。

クリスマスケーキ
christmas cake



D



E



F



G



H



I

部屋の電気をつけたり消したりして遊ぶのはダメ!お化け屋敷ごっこはやめて。ぶつかったら危ないよ!ほら。やっぱりケガしたでしょう。

電気

denki

こどもチームと大人チーム対抗のカルタやトランプ。「大人も負けへんで」と思うけど子どもたちの柔らかい頭には勝てません。動作が鈍くなっていることに気づかされます。

笑顔

egao

今回の夕食にもフルーツがついてごちそう。温かくておいしい手作りの食事、ももりパクパク、お替りして「幸せ～」

フルーツ

fruits

6時15分までは学習時間。宿題や自主勉強をします。高学年になるほど宿題も多く、段々と学習のリズムが身についてきました。

学習

gakusyu

広いところで思いきり動いて発散したいのは良くわかります。でも、心音が終わればすぐ寝る時刻。あまりテンションを上げないようにしましょう。

発散

hassan

子どもたちは上手に使いこなします。使い方の決まりを守って使いましょう。大人はついていけません。

アイパッド

ipad



J



K



L



M



N



O

子ども達が、夕食のテーブルを出して拭いたり、お箸やお茶を配ってくれます。準備OK。今日のメニューは何かな？お腹すいたなあ。

準備 jyunbi

みんな大好きなカレー。スタッフの皆さんが工夫されたいろいろなカレーをおいしくいただきました。

カレー kare

良く食べるねー。その食べっぷりに見とれます。みんな大きくなったねー。鍋いっぱいのおかずもすっかり完食です。

ラージ large

おそうめんなど麺類が大好きです。皿そうめん、そうめんピザ、そうめんお好み焼き、どれが好き？スタッフの皆さんがバラエティーに富んだメニューを考えてくださいます。お寺さんからいっぱいいただいたからたくさん食べてね。

麺類 menrui

笑ったり泣いたり怒ったり。時には喧嘩もするけど、みんな仲良し。心音の子どもたちです。

泣く naku

今日の夕食は「お好み焼き」。焼きながらパンパンたたきすぎ〜。早く焼けないかな〜。もう待てないよ！

お好み焼き okonomiyaki



P

小学校4年になった
らクラブ活動でピン
ポンクラブもあるら
しい。相手は先生。
上手だね。

ピンポン
pinpon



Q

どんなクイズかな？
みんな真剣に考え
ています。優しいの
にしてくね。

クイズ大会
quiz



R

子どもたちは動き回
って遊ぶのが大好
き！でも廊下で鬼ご
っこは危ないよ。走
らずに。

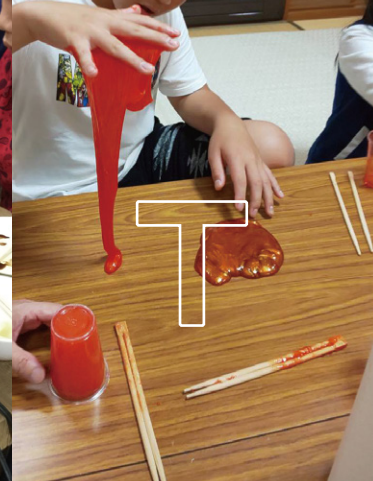
廊下
roka



S

自分の食べられる量
はどのくらい？お替り
すればいいからね。
いつもおいしい食事
をありがとう。みんな
でいただきます。

食事
syokuji



T

スライム作り。この
グニャグニャした感
触、良く伸びるよ！
ぼくは気持ち悪い
なー。みんな平気な
の？
こうした体験活動を
大切にしています。

体験
taiken



U

ウクレレ教室が始ま
りました。月2回、子
どもも大人も一緒に
練習します。初めは
弦が上手く押さえら
れなかったけど、す
ぐに弾けるようにな
りました。お母さん、
お父さん頑張って！
子ども達も応援して
います。

ウクレレ
ukurere



「お兄さん、お姉さんらしく、大きくなったなあ!」と子どもたちの成長にビックリ!よく食べて良く遊び、元気いっぱい!スタッフには一番うれしいことです。

ビックリ
vikkuri

笑い声はやっぱり良いなあ。子どもたちの笑い声は健康のバロメーター。心を豊かにし、皆んなを幸せにする宝物です。子どもたちの笑い声にスタッフは幸せをもらいます。

笑い声
warai goe

自分たちでケーキのデコレーションをします。果物をはさんでイチゴとトッピング、ホイップクリームで仕上げです。どう?美味しそうにできたでしょう?プレゼントもうれしいね。

クリスマス会
christmas party

地元でとれた新鮮な野菜やお米、果物を持ち寄ったり、いただいたり、沢山の方の優しさにとても感謝しています。モリモリ、おいしくいただいています。

野菜
yasai

全員で食事の前は「いただきま〜す」終わったら「ごちそうさまでした」夜8時、まだまだ帰りたくないけど「ありがとうございました。さようなら」と感謝の気持ちを伝えて今日の心音はおしまいです。

全員
zenin

居場所の条件

湯浅誠さん(社会活動家)

- 1 衣、食、住が満たされていること
- 2 「体験」を提供してもらうこと
- 3 時間をかけてもらうこと
- 4 トラブルに対応してもらえること

貧困は貧乏と一緒にではない

「お金がない」だけでなく「つながりがない」「自信がない」ことも含む。

あとがき

開設当初は講師1名と綾部市母子寡婦福祉会の4名と会員の高校生の息子さんが調理や子どもの見守りを行っていました。その後、子どもの参加人数が増えたり、高校生が卒業したので、あやべ市民新聞に載せてもらったスタッフ募集で新たに3名の方にお手伝いいただくことになりました。その後、子どもが10名になりスタッフは講師2名、支援ボランティア14名、男性スタッフ2名も加わりました。

地元でとれたお野菜やお米、果物を持ち寄ったり、お寺さんからおやつや食材など提供していただくなど、皆さんの温かい見守り、支援に感謝しています。

子どもたちの笑顔や笑い声、食事をモリモリ食べる姿をスタッフは幸せに感じています。

令和2年3月末、開設当初から参加してくれた6年生が小学校卒業となります。5年生は最高学年、段々と学習リズムが身について来ました。いつの間にか背丈も伸びて、すっかり落ち着いて全体を見渡せるようになりました。成長したね。一緒に時間を過ごすことが出来て本当にうれしいです。

こどもの居場所

こ こ ね 心音



＊生活支援

あいさつなど基本的な生活習慣の
習得支援や生活指導、食事の提供

＊学習支援

子どもの学力に応じた個別指導、
学習習慣の定着に向けた取り組み

＊相談支援

悩みや不安の解消を図るとともに
夢や希望の実現に向けて努力する
方向になるような取り組み。
各種支援策の情報提供。

＊交流活動

地域の行事やイベントに参加するなど
人とのかわわりを養う取り組み

参加費 無料

とき：毎週水曜日 午後５時～８時

ところ：栗文化センター

京都府綾部市栗町相定 47 番地の3

申込・問い合わせ 綾部市母子寡婦福祉会（神内）

電話 090-3037-4176

実施主体：京都府母子寡婦福祉連合会 綾部市母子寡婦福祉会

協力団体：社会福祉法人綾部市社会福祉協議会



心音 AtoZ

発行日 2020年2月1日

発行 綾部市母子寡婦福祉会